

オーストリアにおける
出産前後の母親のクオリティ・オブ・ライフ
Quality of Life Outcomes
in Early Motherhood in Austria

(講演内容)

オーストリアにおける出産や子育ての現状、妊娠中と産後のうつやクオリティ・オブ・ライフに影響する医学的・心理社会的要因に関する研究をもとに、出産前後の母親のクオリティ・オブ・ライフについて、お話しいただきます。

《講演者》

エファ・マウトナー (Dr. Eva Mautner)

(広島大学大学院教育学研究科学習開発学講座客員准教授、
グラーツ大学病院産婦人科臨床・健康心理士)



(講演者紹介) 専門は臨床・健康心理学。グラーツ医科大学大学院にて博士号(医学)取得。シュタイヤーマルク州青少年職業教育プロジェクト心理士を経て、グラーツ大学病院産婦人科臨床・健康心理士、研究員として活躍。在宅ケア臨床・健康心理士、シュタイヤーマルク州政府家族計画相談所心理士としても活躍。2008年に、クオリティ・オブ・ライフ研究国際学会において新人研究者賞受賞(「妊娠と出産-クオリティ・オブ・ライフと幸福への医療と心理的要因の影響-」)。“The impact of resilience on psychological outcomes in women after preeclampsia.”や“Quality of life outcomes in pregnancy and postpartum complicated by hypertensive disorders, gestational diabetes and preterm birth.”といった多数の研究論文を発表している。平成25年10月1日から平成26年3月31日までの6ヶ月間、学習開発学講座客員准教授。

日時 平成25年10月11日(金) 16:20 - 17:50

場所 広島大学大学院教育学研究科 第三・四会議室

対象 特に参加資格はありません。テーマに関心がある方は奮ってご参加ください。事前申し込みも不要です。

参加費 無料

問い合わせ先: 広島大学大学院教育学研究科学習開発学講座

教授 井上 弥 (winoue@hiroshima-u.ac.jp, 内線 7192)

助教 蘆田 智絵 (cashida@hiroshima-u.ac.jp, 内線 7185)

